

JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.196)

1. 豊田PCB処理事業部会について

7月20日(月)に令和2年度第1回「ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会豊田PCB処理事業部会」を名古屋市内で開催しました。

この部会は、4名の学識経験者で構成され、環境省、愛知県及び豊田市からもオブザーバーとしてご出席いただいております。今回は新型コロナウイルス対応の為、3密を避けソーシャルディスタンスを確保し、少人数での開催といたしました。

当事業所から、令和2年6月末時点におけるPCB処理状況廃棄物の処理状況、環境モニタリング状況等についてご報告いたしました。



保管事業者の皆様から当社に登録していただいた処理物のうち、PCB油を含む変圧器やコンデンサーは9割以上処理を完了しております。また、PCB廃棄物の入っていた保管容器は7割以上を処理しております。事業所内の労災、漏洩及び収運過程でのトラブルもありませんでした。

また、環境モニタリングについても、良好な測定結果であることを報告し、委員の方々からは、当事業所のPCB廃棄物処理が順調に進んでいるとの評価をいただきました。

2. 全国安全週間の取り組み

全国安全週間は、労働災害防止活動の推進を図り、安全に対する意識と職場の安全活動のより一層の向上に取り組む週間です。令和2年度は『エイジフレンドリー職場へ！ みんなで改善 リスクの低減』をスローガンに掲げ、7月1日(水)～7月7日(火)に実施されました。

豊田PCB処理事業所でも労働災害防止活動の大切さを再確認し、積極的に安全活動に取り組みました。例年は豊田PCB処理事業所で働く全従業員の安全意識の高揚を図ることを目的に安全大会を開催していますが、今年は新型コロナウイルスの影響を踏まえ、事業所長と運転会社社長からのメッセージを回覧する形式で実施いたしました。

その他の安全活動としては、『職場4Sの日』を設け、保護具の清掃点検や処理棟で使用する安全靴と靴箱の清掃、職場の不用品の処分など、身の回りの整理整頓に努めました。また、7月4日(土)に交通安全の日として交通安全マナーの啓発、7月5日(日)には健康管理の日として家庭でのリフレッシュや健康管理を呼びかけ、そして7月7日(火)に事業所内の安全パトロールを実施しました。

3. 豊田PCB廃棄物処理施設 見学再開のお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、豊田PCB処理事業所における施設見学の受入を3月3日(火)より中止しておりましたが、7月13日(月)から再開いたしました。

見学にあたっては、以下の新型コロナウイルス感染拡大防止策にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

- ・本人又は同居者が当日及び2週間以内に発熱や咳、くしゃみ、鼻水、咽頭痛、倦怠感等の風邪症状がある場合には、見学をお控えください。
- ・来場時に非接触型体温計による体温測定への協力をお願いします。
- ・新型コロナウイルス感染者が発生した場合の対策として、連絡先等をお聞きします。当日、見学者自らが記入、提出していただきます。
- ・来場時のアルコール手指消毒や、こまめな手洗いをお願いいたします。
- ・見学中はマスクを着用し、咳エチケットを心がけてください。
- ・見学中はできるだけ距離をあけて、可能な範囲で身体的距離の確保をお願いします。
- ・1回の見学の受入は10名までとさせていただきます。

ご不便をおかけしますが、何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、今後の地域の感染状況によっては、見学受入の対応が急遽変更となる場合もありますので、予めご了承くださいませようお願いいたします。

4. 産業医による健康講話を聴く

豊田事業所では社員の健康管理の一環として、産業医による健康講話を定期的を実施しており、本年度第1回目を6月30日(火)に開催しました。

今回のテーマは「コロナ対策について」でした。新型コロナウイルスの感染状況や感染経路、主な感染症の症状などについての講話がありました。

新型コロナ感染症状の約8割が軽症患者ですが、重篤者や死亡者も少なからず発生しています。

感染予防・感染拡大防止策や人との接触を減らす方法など、具体的な感染防止対策についてご説明いただき、とても参考になりました。



デジ丸

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話：0565-25-3110 FAX：0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>

問い合わせ先

アザラシのびーちゃん

